

ごとう通信

第77号

平成19年5月1日

桜の季節であるはずの四月が時々
の雨で水を差された気がしましたね。
もちろん、空気は十分に春なので
が、要所要所の曇り空。ちよつと盛り
上がらない気もしました。

さらに！日中は晴れていたのに夕
方から嵐になるような日もありまし
た。ちよつどその時、僕は早稲田大学
の正門近くまでたどり着いていまし
た。体中びしょ濡れの上、豪雨で前が
よく見えません。ただ、早く帰りたい
とだけ思いながら学生たちの脇をゆ



つくりと自転車で走っていたの
ですが、急に歩道と車道の段差
が目に入り、ブレーキをかけま
した。その瞬間視界が大きく回
転しました。極端に言うくと、背中
は地面に、車輪が宙に浮く状態。身体
の痛さもありましたが、学生たちの
視線のほうに痛い！あわてて体勢を
立て直そうとしていると、ある男子
学生が「気をつけてね」と優しく声を
かけてくれ、カバンを拾ってくれま
した。僕は余裕もなく、恥ずかしかっ
たので「ありがとうございます」とだ
けお礼を言ってその場をすぐに離れ
ました。その学生も知らないだろう
なあ。相手が20歳近く年上のオヤ
ジだったなんて。

お休みシンドローム

身体に疲れがたまるといような形
で症状が出てきます。例えば、寝不足
やストレスがたまったりした後歯
が痛んだり、しみたりする人がいま
す。人間の身体は、ある程度の環境に
抵抗する力があるので、歯自体の状
態は変わらなくても自分自身の抵抗
力が落ちてしまうと症状として出て
くるのでしよう。

ところが、年末年始、ゴールデンウ
ーク、お盆休みなどの長期休暇が
あると症状を出してしまう人がいま
す。普段は忙しくしていて、たまの休
日、十分な睡眠をとったり身体を休
めたりしているのに、ものすごい痛
みが生じてしまったり、組織が大き
く腫れてしまう人がいます。このよ
うな方は、日頃忙しいのに体力があ
るので症状が出るのがほとんどあ
りません。でも、気を抜ける休日など